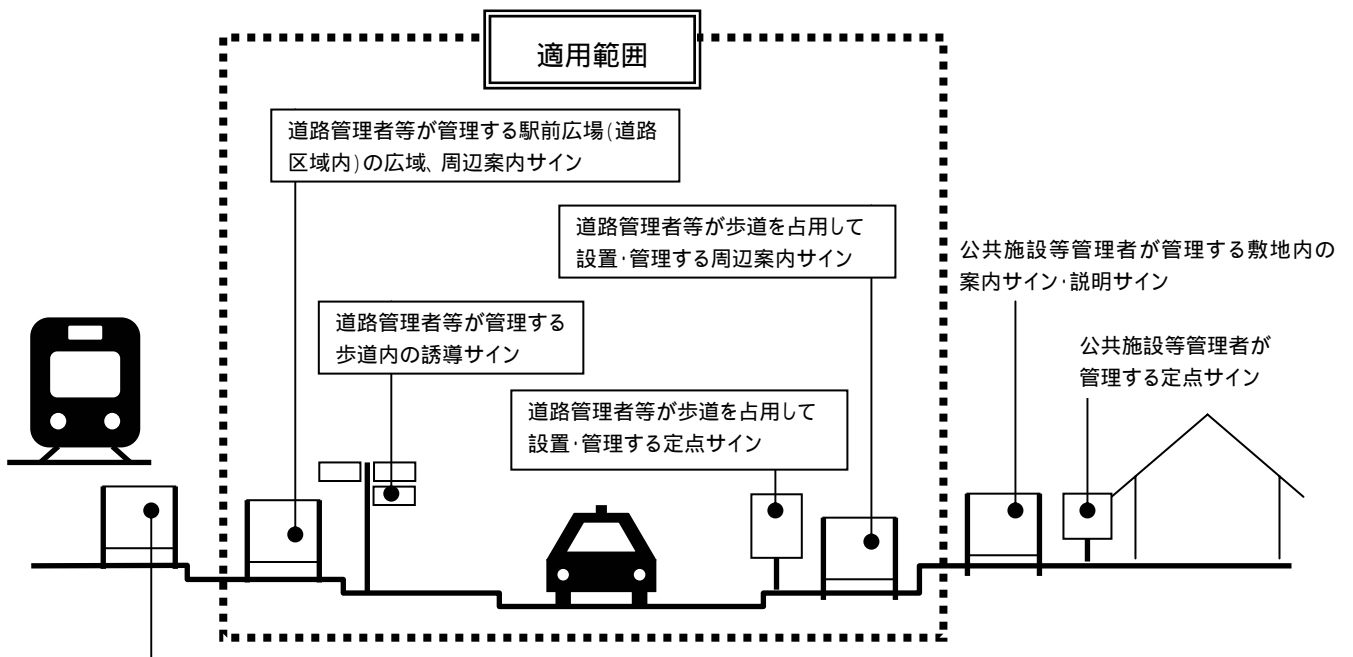


第 1 章 策定の目的等

1 - 1 本計画策定の目的

本計画は、平成18年3月、小川町・美野里町・玉里村の2町1村が合併し、小美玉市が誕生したことを受け、既存サインシステムのデザイン等の統一化を図るとともに、市民、及び市外からの来訪者の円滑な誘導を図るための新たなサインシステムの基本的な方針を示すことを目的とする。

1 - 2 本計画で対象とするサイン



公共交通事業者が設置した
駅舎内の周辺案内、誘導サイン

< 適用範囲 >

種類	内容	
誘導サイン	【施設誘導サイン】	主要公共施設を誘導するサイン
定点サイン	【ゲートサイン】	小美玉市を意識させる視認性の高いサイン
	【地点名称サイン】	地点(大字)を意識させる視認性の高いサイン
案内サイン	【総合案内サイン】	小美玉市全域の公共施設等を案内するサイン

< 適用外 >

- ・道路管理者が設置する道路標識設置基準に規定された標識
- ・公共交通事業者が、交通旅客施設内に設置するサイン
- ・公共施設等の管理者が管理する定点サイン
- ・公共施設等の管理者が管理する敷地内の案内サイン・説明サイン

1 - 3 サインシステムの基本的な考え方

サインシステムとは、市民・事業者等の生活に必要な情報を市域において直接提供する情報装置であり、公共性が高く、不特定多数の利用者が認識可能であることが必要である。また、情報装置というだけでなく、まちのイメージをつくりだし、まちのアイデンティティを形成する要素にもなるものである。

その為、本市のサインシステムの基本的な役割を、「市内での移動や行動、まちの理解に関わる情報を分かりやすく伝える」こと、「市における景観形成要素の1つとして、まちのイメージを表現する」ことの2点に整理する。また、合併新市であることもふまえ、「新市のアイデンティティを創出する」こともサインシステム整備の重要な役割とする。

市内での移動や行動、まちの理解に関わる情報を分かりやすく伝える

市における景観形成要素の1つとして、まちのイメージを表現する

新市のアイデンティティを創出する

1 - 4 サインの整備目的

公共サインの整備目的は、地域の特性や課題、整備主体によって重点は異なるが、大きく「対象地まで分かりやすく、安全・快適に誘導案内する」こと、「デザインは地域性に充分配慮し、景観まちづくりのツールとする」こと、「市民のみならず、市外からの来訪者のまちに対する愛着を生み出す」ことの3点とする。

対象地まで分かりやすく、安全・快適に誘導案内する

デザインは地域性に充分配慮し、景観まちづくりのツールとする

市民のみならず、市外からの来訪者のまちに対する愛着を生み出す

1 - 5 本計画の構成

サインシステムの基本的な考え方や整備目的をふまえ、サインシステムの現況と課題の把握、基本目標と整備方針の設定をし、配置計画、表示内容、デザイン、基準の設定及び一般構造図についての検討を行う。さらに、今後の整備年次計画についても示すものとする。

